

事業番号	05 10 09	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■点検
事業名	毒物劇物安全対策費				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト					課・局・室	薬事管理課	
	施策の総合的展開	4－2 県民生活の安全確保				E-mail	yakuij@pref.nagano.lg.jp	
		4 食品・医薬品等の安全確保				実施期間	S25 ～	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針							
	施策展開							

1 事業の概要

目指す姿	毒物劇物の違反、事件及び事故を減少させる。 毒物劇物の適正な取扱い、保管がなされ、毒物劇物による事件・事故がない長野県を目指す。		
現状（予算編成時）	・平成26年度における毒物劇物の違反施設数は、毒物劇物営業者が56件、業務上取扱者が83件あり、適正な取扱い、保管がなされていない。なお、事件・事故の発生はなかった。 ・近年、空気呼吸器や応急措置用の事故処理剤を使用する事故は発生していないが、毒物劇物の事故の発生時における保健衛生上の危害防止のため、緊急時に対応できる体制を常に整えておく必要がある。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 毒物及び劇物取締法	
	県民との協働による実施：実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	年2回の危害防止運動（農業危害防止運動、毒物劇物及び農業危害防止運動）を農政部と協力して実施する。 毒物劇物事故対策研修会を年1回開催し、毒物劇物を取扱う事業者等に対し、安全意識の高揚を図り保健衛生上の危害防止につなげる。研修会は長野と松本で交互に開催しているので、毒物劇物製造業者等が2年に1回は受講するものとし、60事業所を目標とする。 事故発生時に備え、緊急時に必要とされる事故処理剤を確実に備蓄する。					
	② 事業内容（単位：千円）					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29
				（当初）	（決算）	（当初）
	1.監視指導	直接	・毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物営業者等の登録・許可等の電算処理を実施。 ・毒物劇物営業者等における毒物劇物の取扱い等の適正化のため、立入検査を実施。 ・毒物劇物に関する適正な取扱いや保管管理の徹底を図るため、危害防止運動を実施。（2回） ・毒物劇物に関する安全意識の高揚を図り、保健衛生上の危害防止のため、毒物劇物事故対策研修会を実施。（1会場、1回）	883	593	707
2.空気呼吸器保守点検	直接	毒物劇物による事故等の有事に備えるため、保健所に主に配備した空気呼吸器の保守点検、空気の充填を実施。（11ヶ所、17本） また、法令の規定による耐圧試験も実施。（3ヶ所、4本）	272	194	264	
3.毒物劇物事故処理剤備蓄補助事業	補助金	毒物劇物の事故発生に伴う危害防止のため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助を実施。（7ヶ所、6品目） （補助先：長野県医薬品卸協同組合）	500	500	500	
		合計	1,655	1,287	1,471	

事業コスト	区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	1,479	1,655	1,471				目標	成果	達成状況	
		補正予算				危害防止運動	2回	2回	2回	2回	達成	－
		合計（A）	1,479	1,655	1,471	毒物劇物事故対策研修会受講事業所数	75事業所	98事業所	60事業所	78事業所	達成	－
	Aの財源	一般財源				毒物劇物事故処理剤の備蓄	5ヶ所 6品目	5ヶ所 6品目	5ヶ所 6品目	7ヶ所 6品目	達成	－
		県債										
		国庫支出金										
		その他	1,479	1,655	1,471							
	決算額（B）		1,287	1,287								
	概算人件費	職員数（人）	2.50	2.50	2.50							
	概算事業費（B（A）＋C）	概算人件費（C）	20,690	19,785	19,785							
		21,977	21,072	21,256								

目標に対する成果の状況	農業危害防止運動、毒物劇物及び農業危害防止運動を農政部と協力して実施し、毒物劇物の適正な取扱い等について県民に啓発することができた。 毒物劇物事故対策研修会を長野市において開催し、関係者の毒物劇物の安全管理意識を高めることができた（出席者100名）。 塩尻市で開催された空気呼吸器着装訓練に保健所等職員9名が参加し、空気呼吸器の着装方法を習得することができた。 事故処理剤の備蓄について、関係者の協力のもと円滑に事業を実施した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き危害防止運動や毒物劇物事故対策研修会等を通じ、毒物劇物による危害防止について周知することにより、毒物劇物の適正な取扱いや保管がなされ、毒物劇物による事件・事故のない長野県を目指す。 また、毒物劇物による事故発生時に安全・迅速に対応できるよう、毒物劇物事故処理剤を備蓄し、空気呼吸器の取扱いについて習熟する。
--------------------	---